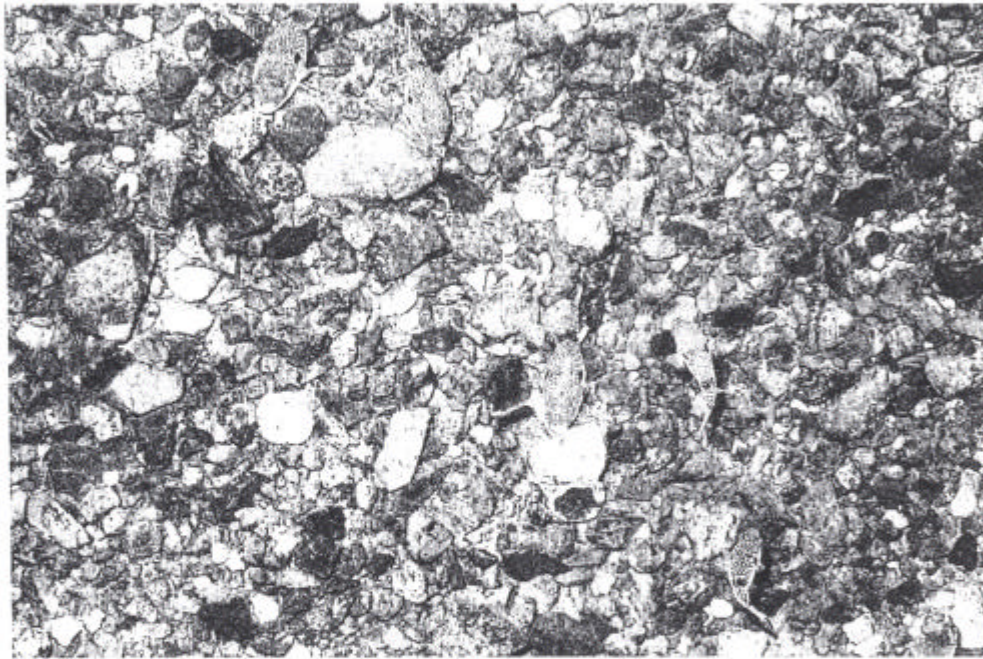


クサフグの大群、伊佐津川に遡上

満潮の上げ潮に乗って訪れる？



相生橋まで伊佐津川を上って川底に張りつくクサフグ(上野正博さん撮影)

上野さんが伊佐津川河川一際、河口から約五百メートルの地点の水質調査をしている。流の相生橋付近で発見した。この地点の水の塩分濃度を調べたところ、

海水域や河口などに生息するクサフグの大群が、伊佐津川に遡上している珍しい様子が見つかった。京都大学フィールド科学研究センター！舞鶴水産実験所の上野正博助手が五月二十八日、上安久の相生橋の下で、川底の砂利にべた

と張りついている数百匹のクサフグを確認した。満潮の上げ潮に乗って訪れたらしい。餌取りの魚として釣り客には馴染みがあるが、淡水域の川まで大群で上ってくる理由はあまり分かっていない。

相生橋の下 川底の砂利に張りつく 京大水産実験所の上野さんが確認

一でほぼ淡水だった。橋の上からその群れを撮影した。川底に張りついて動かない様子は「湯治に来て温泉につかっているよう」という。

上野さんは「見つけたのは舞鶴港の満潮時間(二十八日午前十時五十分)の少し前だったのでも、上げ潮に乗ってきたのかも。海水魚が淡水域に上がる理由はいくつかあるが、クサフグの場合、体表面についた寄生虫やカビを殺すための可能性が大きい」と話していた。

舞鶴市民新聞

発行所
(株)舞鶴市民新聞社
〒611-0916
舞鶴市福来912-1
電話 0773-78-2055
ファックス 0773-77-1750
郵便振替口座 01000-4-42544

キャンペーン実施中
平成16年
09/30迄まで

得住宅ローン

最長35年
5,000万円以内

固定金利優待型
(特約期間2年)
1.00%

詳しくは窓口までお気軽にご相談下さい。
0120-4910-86

この街と生きていく
京都北都信用金庫
0120-4910-86

クサフグは体長約十六センチまで、青森県以南の日本沿岸に生息。投げ釣りの外道として釣り針にもよくかかるが、卵果などに毒を持っている。産卵の習性が特異。五月、八月にかけて新月または満月の前後の夕方、大潮に合わせ大群で波打ち際の岩場に乗り上げ、小石の間に産卵する。

低塩分に強く、海水と淡水が混じる汽水域の河口に生息するほか、淡水域の川にも上るといわれる。数年前から宮津市内の犀川などに遡上するクサフグの報告があり、東京工業大学の研究者らが捕獲して調査を開始。川底に張りついて動かないこと、遡上したクサフグは川と海を頻りに往復するなどの様子を観察したが、なぜ淡水域まで遡上するのかなど詳しいことは分かっていない。